

一般演題採択 & 発表セッション割

登録No.	演題番号	氏名	所属機関名	セッション名	演題タイトル
2	1	松田 千春	公益財団法人東京都医学総合研究所	評価・訓練・介入法	外来通院期にある認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症患者2例の球麻痺症状と呼吸障害の関係
3	2	土屋かほる	亀田総合病院 耳鼻咽喉科	評価・訓練・介入法	多系統萎縮症における声帯運動障害、呼吸障害、嚥下障害の発症時期 - 臨床病型による比較 -
27	3	道津友里子	福岡大学病院 摂食嚥下センター	評価・訓練・介入法	パーキンソン病患者におけるLDバ持続経腸療法導入前後の嚥下機能の変化
16	4	平野 牧人	近畿大学医学部脳神経内科	評価・訓練・介入法	球麻痺型筋萎縮性側索硬化症に関連するATXN8OS遺伝子の同定
22	5	寒川 真	近畿大学医学部脳神経内科	評価・訓練・介入法	CADASIL症例における嚥下機能評価
12	6	藤本 保志	名古屋大学医学部附属病院	評価・訓練・介入法	眼咽頭筋ジストロフィーの長期経過 - 嚥下・音声への介入を通じた考察
11	7	國枝頭二郎	浜松市リハビリテーション病院	評価・訓練・介入法	指導によってバキューム嚥下を再現できた球麻痺の一例
19	8	和座 雅浩	各務原リハビリテーション病院	評価・訓練・介入法	重度嚥下障害を呈した多発脳神経炎に対する頸部干渉波刺激装置の使用経験
21	9	小池 正樹	(医) ちゅうざん会 ちゅうざん病院	評価・訓練・介入法	パーキンソン病患者への干渉波電気感覚刺激療法を併用した摂食嚥下リハビリテーションの効果
25	10	津田 豪太	聖隷佐倉市民病院	耳鼻・口腔	終末期ALS症例に対する局麻下気管分離術は妥当だったのか
5	11	吉川 由規	国立病院機構東名古屋病院	耳鼻・口腔	喉頭気管分離術後に常食摂取と人工喉頭で発声が可能となった多系統萎縮症の1例 意思決定の過程とリハビリ
15	12	荻野 智雄	国立病院機構宇多野病院	耳鼻・口腔	誤嚥防止術を施行したパーキンソン病4例の臨床的背景と効果についての検討
18	13	内田 真哉	京都第2赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道外科	耳鼻・口腔	神経筋疾患患者における経口摂食への切り札
24	14	大島亜希子	朝日大学医科歯科医療センター	耳鼻・口腔	栄養障害を併発した筋萎縮性側索硬化症患者に対する歯科的介入
26	15	中澤 悠里	医療法人社団登豊会近石病院	耳鼻・口腔	Wallenberg症候群発症後の重度嚥下障害に対し舌接触補助床 (PAP) を作成した1症例
4	16	大塚 義顕	国立病院機構千葉東病院	耳鼻・口腔	顎関節脱臼を繰り返したパーキンソン病のアイザックス症候群を発症した1例
1	17	田積 匡平	岡崎市民病院リハビリテーション室	倫理・栄養・多職種連携	肺炎で入院したパーキンソン病患者の摂食嚥下障害に対する言語聴覚士と神経内科医の連携
8	18	野中小百合	特定医療法人茜会 昭和病院	倫理・栄養・多職種連携	多系統萎縮症患者の経口摂取へ向けて ~「食べたい」を叶える~
17	19	東田 和博	岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野	倫理・栄養・多職種連携	胃瘻の造設を頑なに拒否した筋萎縮性側索硬化症患者の男性例の検討
28	20	浅川 孝司	吉野内科・神経内科医院 国際医療福祉大学市川病院	倫理・栄養・多職種連携	多職種チーム医療に起こる臨床倫理的問題
6	21	富田 聡	国立病院機構 宇多野病院 臨床研究部、脳神経内科	倫理・栄養・多職種連携	パーキンソン病関連疾患において経管栄養選択が生命予後に与える影響
10	22	高橋 哲哉	国立病院機構 西新潟中央病院	倫理・栄養・多職種連携	進行性核上性麻痺患者の機能予後に与える体重変化の影響
14	23	青山 有紀	東京都立神経病院 NST	倫理・栄養・多職種連携	筋萎縮性側索硬化症患者への新たな予測式を用いた必要摂取エネルギー量算出とその介入効果についての検討
20	24	清水 俊夫	東京都立神経病院 脳神経内科	倫理・栄養・多職種連携	筋萎縮性側索硬化症における体重減少と呼吸器装着後の機能予後との関連
23	25	田中 美穂	尼崎だいち病院	倫理・栄養・多職種連携	嚥下訓練食の活用状況と今後の展望について 第一報